



## 東 北 方 面

### 萬石浦架橋

#### 四年度中に竣工の豫定

金華山道路を産業道路としての機能を發揮せしむるため萬石浦の橋梁を工費十萬圓を以て長さ六十間高さ水上十五尺幅五間として架設の設計を了し這般ボーリング實際を遂げたのであるが、右工費の中四分の一即ち二萬五千圓は地元關係町村に於て寄附を出すことに町村長會で決定し、架橋設

計の内容や町村寄附金の割當等につき縣の内示を求めたが未だ内示に接しないのでそのまゝに爲つてゐるが、現在の所では金華山道路が完成しても恰も佛作つて魂入れずの類で完全に機能を發揮することが出来なといふので明年度に着手し竣工するやう町村長會で取急ぎ計劃をすゝめてゐる。

## 東 海 方 面

### 豊田市花田町の

#### 交通改善の施設

豊橋市花田町踏切以西方面の交通の改善緩和を圖る施設として、多年の懸案とされて居た驛構内の西口開設は、既に工事材料等施工の準備を整へつゝあつて、來月早々着工される模極であるが、陸橋の架設は容易ならぬ工事として相當手間取れるも、年度内には完成せしめる見込みで、四月中には開通の運びとなる豫定である。又地下道の開鑿を提唱されて居る大山塚踏切の改善については、商工會議所交通部においても之が促進を期して居るが、同所は都市計畫道路網中陸橋架設の計畫が樹てられてゐるので、地下道の實現は困難と見られるも、市では同所の交通状態に鑑み急速に陸橋の架設を實現すべく、鋭意具體化に向つて調査の歩を進めてゐる。

### 岩津町に道路を開鑿

愛知縣額田郡岩津町大字日影丸塚土工森林組合では、昭和三年度中に低利資金五千

圓を借入し、同年度着工四年度完成の豫定で、工費八千五百圓を以て幅員十尺、延長千間の道路及四年度着工同年度完成の豫定で同年度中に低利資金二千圓を借入し、工費三千圓を以て幅員六尺延長七百間の道路を開鑿することとなり、小崎技手の手で設計中であるが近く縣に對し認可申請をなす筈である。而して前者は三年度に於て二百五十間、四年度に於て七百五十間を完成せしむこととなつてあるものである。

## 北越方面

### 長岡市道延長

#### 工事施行請願

長岡市に於て施行中であつた神田町三丁目から長町を経て、愛宕町に通ずる道路新設工事は、請負者の努力に依り過般竣工を告げ検査も終つたが、同道路の關係町民中

愛宕方面の町民は、該道路工事をあの儘とするに於ては、折角の新開道路も道路として眞の效用を望み難いから、四年度に於て是非とも更に東方川崎町方面に向つて延長工事を施行し、以て道路としての目的を完全に達成せしめられたいと、今回愛宕町の有力者連署調印の上岩田市長及田村市會議長に對して請願書を提出した。

### 北荷頃線改修と四郎丸町

長岡市四郎丸町を貫通する府縣道北荷頃線は、昭和四年度に於て四郎丸町地内延長約九町を改修することとなつたが、その工費一萬五千圓の内、地元長岡市の負擔すべき額は四千五百圓である、併しこれを全部長岡市が負擔するは、目下の財政状態に於ては甚だ困難のことだといふので、市當局は直接間接右改修工事によつて、利便を享受する關係町内の代表者として市會議員四名に對し過日市役所に參集をもとめ、各町

内が四千五百圓の市負擔金中負擔し得らるゝ寄附金について意見を聴取した。

### 川口橋移管は

#### 圓滿解決せん

新潟縣北魚沼郡川口村と蕨生村舊上川郷との合併に就ては、舊臘二十三日川口村役場で兩村委員會見し、蕨生側から提出した希望條件十六項目の中、川口橋が縣移管とならぬ場合は、舊川口村で維持修繕をなす件の一項目を残したのみで、その他は全部協定成り川口橋縣移管を陳情すべく杵淵、古四島兩村長が出縣し、尾崎知事に面會の上親しく具陳したが、知事もこれを諒として縣移管となす旨言明したから、近く認可具體化することとならう。これで問題は圓滿に解決された譯である。

### 刈羽の農村に自動車普及

新潟縣刈羽郡上條村では村内有志者が共

同出資して上條運輸組合を組織し、貨物自動車一臺を備へつけて村内農産物及原料物資の運搬を本位としその餘暇には一般物資運搬の要求にも應ずることにした、これは農業經濟上運搬費の節減が非常に重大視された結果で、隣村野田村でもこの計畫が好成績を収めてゐるのを見て近く同様の企てをなすことになつてゐるし、郡内一般がこの新規計畫を興味を以て注目し、漸次さういふ計畫が普及する傾向がある、近い將來に於て同郡農村は自動化して行くだらう。

### 黨勢擴張から郷土を賣る

新潟縣岩船村上間道路改修費の地元負擔金三千六百圓は、現在の岩船町としては豫期せざる過重な負擔である、今春の火災後瓦斯倫ポンプ購入すら町費を以てせる如き財政状態であり、而も現在完全な國道十號線を有してゐるのに、只距離に於て百間程の短縮のため其改修工事に對し町から三千

餘圓の支出をなすことは非常の苦痛であり且つ同町としては築港市區改正等一層緊急な幾多の事業を扣へてゐる、然るに政友會に屬する同町幹部連は横暴にも地元負擔に付町に對し何等の打合せもなく黨勢擴張やら來るべき町議改選準備政策を加味して道路改修の運動をしたもの、如く、心ある町民は非常に憤慨してゐる、縣當局からは本年一月中に地元負擔承諾の可否を回答せよとのことで町理事者は頭痛を病み一部には町民大會を開いて反對せよとの聲がある。

### 府縣道安塚高田線改修

府縣道安塚高田線の改修は、沿道民多年の希望であつたが、本年の縣會に於て昭和三年度豫算に一萬五千圓を振當て工事を行ふ事となり、このほど地元負擔金三千圓を出せば、直に工事を開始する旨内報があつたので、沿道各村では負擔金割當につき近く協議を開く筈である。

## 近畿方面

### 二里の林道下北山

#### 村から十津川村に

奈良縣吉野郡下北村大字補向の林業家四千餘名は、笠捨土工森林組合を設立し、同大字から同郡十津川村大字葛川に達する延長約二里幅員八尺の林道新設の計畫中だが、工費約五萬圓を要する見込であり、これが實現の上は下北村から漕八丁方面へ出るのに非常に便利になる。

### 重寶な防護網を

#### 張つて交通事故を防ぐ

兵庫縣龍野土木出張所では近年自動車の交通事故頻發に鑑み、將來管内の危険な道路に英國製防護網の設備を爲すの計劃を立て事故皆無を期してゐる。

一月八日の初札に於て安栗郡と揖保郡の境界——揖保郡秀島村及び安栗郡城下村一部所屬縣道に防護網一千四百五十尺を設備すべく工事請負入札を執行したが、この防護網は高さ地上より約二尺六寸これを通り交通危険な同所の揖保川に面した個所に張つて置くこと自動車や自轉車が操縦を過つたり雪江りに逢ふて河中へ墜落しかけてもウマケ網に引ッ掛つて墜ちないと云ふのである。従つてこの防護網をもつて危険區域を防いでおくと交通事故なんか殆ど未然に防ぐことが同來得るので、これさへ完備すればどんな山道でも交通地獄を免れることにならう。

### 正條橋四年度内に

#### 着工されん

兵庫縣揖保郡神部村の正條橋架設問題は行懸りの縣と地元町村の紛糾も解決を告げ三年度で着工する豫定のところ二號國道線

變更の關係上或は着手期を五年度に繰延べされるのではないかと傳へられてゐたが、愈々四年度に於て着手することになつた。

龍野土木出張所では基本調査に着手し架設場所の揖保川底を地下約三十尺も掘下げ土質の検査を進めてゐるが、設計が出来上つて工事に取り掛るのは早くとも七八月頃になるだらうとのこと

新橋の位置は縣當局の意見の通り現在の正條橋から約二町北部即ち省線鐵橋より一町北の地點と内定しをり工費十萬餘圓、完成は五年度末頃にいたる模様である。

## 九州方面

### 若松市營乗合自動車

#### 折尾間に實施の内容

福岡若松市長は客年十二月廿六日の最終市會で決定した若松市から遠賀郡折尾町間

八睡の市營自動車經營の件に關し、總經費三萬圓の起償申請書を携帶二十七日朝縣に出頭當局の諒解を求むる處があつた。因に市營バスは右八睡間に一臺六人乗の自動車六臺を以て運轉する計畫で、一臺の見積額約三千圓計一萬八千圓殘額一萬二千圓は車庫建設費及運轉手車掌の給料其他雜支出である。

